

## 新聞を読もう

教科書出版社名（ 光村図書 ）

○ 小学校（ 5 ）年 教科等（ 国語 ）

○ 「自ら学ぶ子どもの育成」に向けて、この単元で付けたい力

- ・新聞も貴重な資料であることを知る。
- ・新聞を読むことで、社会の出来事に興味をもつことができる。
- ・同じ出来事でも、新聞社ごと、また地域ごとに見出しの内容や写真が異なることを知り、情報を多面的に分析することの大切さに気づくことができる。

○ 学校図書館活用のポイント

- ・新聞のつくりについて、教科書だけでなく、関連図書を読み、より詳しく知る。
- ・一般紙の他に、子ども向け新聞があることを知り、学校でも読むことができることを知る。

○ 学習の展開（全3時間）

第1次	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞に触れ、たくさんの情報があることを知る。</li> <li>・新聞の一面を見て、構成や「見出し」「リード文」などの名称を知る。</li> </ul>
第2次	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般紙 4 紙の「紙幣刷新」の記事を見比べ、新聞社や場所により、伝え方や内容が異なることを知る。</li> </ul>
第3次	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一部新聞を渡し、見出しを確認するだけで、その日の出来事を知ることができることを体験する。</li> <li>・見出しから自分が興味をもったり、心が動いたりした記事を見つけ、切り抜きをする。そして、読んで気づいたことや感じたことを書く。</li> </ul>

【取組みを終えて】

○ 学校図書館を活用した学習における成果と課題

① 成果	<ul style="list-style-type: none"><li>・子ども一人に一部、新聞を渡すことで、一人でじっくりと新聞に触れることができた。また、興味深く新聞記事を読むことができた。</li><li>・全国紙 4 紙を活用し、同じ出来事でも書きぶりが違うことを実感することができた。また、写真の撮り方や使い方の違いも比べることができた。</li><li>・一般紙は読めない漢字が多いのだが、自分の力で何とか読もうとする姿が見られた。</li><li>・「ブラックホール」「紙幣刷新」「改元」「テロ」「ゴミ問題」など大きなニュースが多い時期でもあり、子どもたちは時事問題に興味をもつようになった。</li></ul>
② 課題	<ul style="list-style-type: none"><li>・子どもたちの家庭の実態として、新聞を購読している家庭は 2 割～3 割であったため、継続して切り抜きを行うことが難しい。学校で購入している新聞をクラスや子どもたちが通る場所に置くなど、子どもが閲覧しやすい環境を作る必要がある。</li></ul>
③ 児童の感想・ふりかえり	<ul style="list-style-type: none"><li>・見出しを読むと、昨日どんなことがあったのかがわかった。</li><li>・「関連記事」を読むと、詳しい説明があることがわかった。</li><li>・子ども向けの記事があることがわかった。</li></ul>

○ 学校図書館を活用した際に注意した点や学習の中で工夫した点について

<ul style="list-style-type: none"><li>・期間は長くなるが、新聞を一人一部行き渡るようにした。</li><li>・新聞紙の構成について、教科書に書かれているものより更に詳しい内容の本を関連図書として紹介した。</li></ul> <p>「新聞を読もう！（１）新聞を読んでみよう！」 「新聞を読もう！（２）新聞づくりに挑戦！」 「新聞を読もう！（３）新聞博士になろう！」</p> <p>いずれも 鈴木 雄雅 監修、教育画劇、2012 年</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・一般紙はまだ学習していない漢字が多いが、これまでに学習した漢字から意味を推測するという活動にもつながった。</li></ul>
--